

北上市総合計画 2021～2030 令和6年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和5年度）

基本方針	2.未来を創る人づくり
基本施策	2-1.変化する社会を生き抜く「知・徳・体」の育成
関連するプロジェクト	2.学びの改革プロジェクト

国籍、心身の状態、家庭環境等を問わず、すべての児童生徒の「知・徳・体」を育てるため、豊かな自然、伝統ある郷土文化等、地域の様々な資源を活かし、教育機関との連携強化を図りながら、充実した学校教育を展開します。また、学校給食による食育を推進し、子どもたちが積極的に心身の健康の保持増進を図っていく資質や能力を身に付け、生涯を通じて健康・安全な生活を送る基礎を培います。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

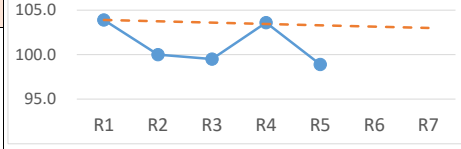
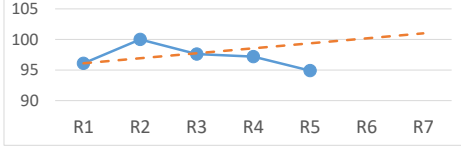
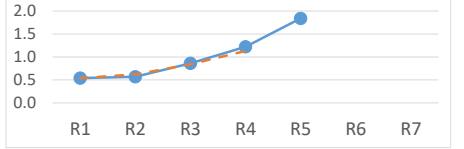
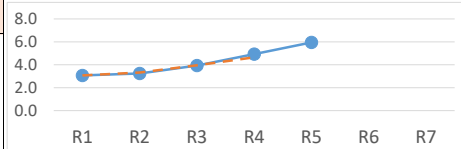
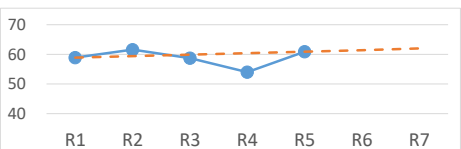
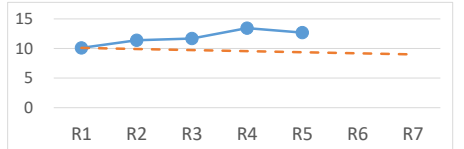
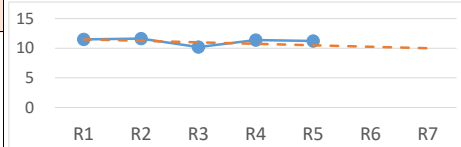
総合評価
A

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
3

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針		成果指標	達成状況(対象:R5) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況 評価	達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R6に着手予定・着手済み ◆:R7以降の着手を検討)
								内部要因	外部要因	
1	教育部	●	確かな学力と情報活用能力の育成	新しい学習指導要領に基づき、主体的・対話的で深い学びの観点から授業改善に取り組み、言語能力の育成・外国語教育・プログラミング教育・理数教育等の充実を図る。また、児童生徒一人に1台タブレット端末の整備を進めることで、情報を整理・比較・発信・伝達したり、共有したりする情報活用能力の向上を図る。	①②	・総合学力調査の結果からは、小学校では期待値をわずかに下回る平均正答率であった。 ・中学校では、期待値を下回る平均正答率であった。	B	市教育委員会において学力向上に向けての課題分析が甘く、授業改善の視点を学校に明示できなかった。	総合学力調査に限らず、全国学力調査や県学力調査において獲得した知識を活用する問題や、他者の考えをもとに自分の考えを再構築する問題など、より生きて働く学力を問う問題構成となっており、ただ知識を身につけさせるだけでは正答率が伸びていかない。	◇各種学力調査結果をもとに、目指すべき資質・能力を明らかにした教師の授業改善を推進する。また、児童生徒のつまずきに対して、具体的支援策を講じていく。目標と一体化された評価問題の工夫により、学力の定着状況を把握し、より生きて働く学力の定着を目指す。 ◇端末の更なる活用推進に向け、OJTによる校内での研修の実施や運用定例会を継続実施する。
						児童生徒の一人一台端末の授業での活用のほか、家庭への持ち帰りによる活用を進めることができた。ただし、学校間、教員間の使用頻度の差が大きいのは課題である。	(A)	・活用に向け、スタート研修等教員対象の研修を実施し、活用の幅を広げることができた。 ・毎月の運用定例会を実施することで、活用状況を把握し、個別の対応を行うことができた。	運用にかかわる各学校で発生したトラブルに対し、契約している通信業者のサポートセンターが迅速な対応を行った。	
2	教育部	●	不登校児童生徒への対応	不登校児童生徒の個々の状況を把握した上で、不登校児童生徒やその保護者の心情に寄り添い、丁寧且つ適切な学習支援及び相談に取り組むとともに、学校以外の関係機関との連携強化を図るため、スクールソーシャルワーカー(SSW)を増員する。	③④	小中学校とも、前年度より不登校出現率が増加した。結果が分かっている令和4年度の県、全国の不登校出現率と比較した場合、小中学校ともに全国を下回り、県を若干上回っている。	B	小学校・中学校ともに、学校不適応を起こす児童生徒に対し、早期発見、組織的な対応を行ってきているが、不適応にかかわる個々の要因が複雑化しており、具体的な解決に至らないケースが多い。また、学校とのつながりが希薄になるケースも多くなっている。	個々に様々な要因があるが、子どもの耐性に期待することが少なくなっている。また、状況に応じて休ませる傾向が強まっており、教員の取組だけでは、解決が困難である。	◇学校においては、早期発見、組織的な対応を継続実施する。 ◇学びのサポートセンターなないろやスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、その他関係機関と連携しケース会議を実施する。 ◇教育相談員やスクールソーシャルワーカーを活用し、個別の保護者対応や学校サポートを行う。 ◇端末での健康観察やリモート学習を積極的に推奨し、当該児童生徒とつながりを保つとともに、学びの保障を行っていく。 ◇保護者会の必要性について、ニーズの把握に努める。
						市独自のスクールソーシャルワーカーを1名増員した。	(B)		家庭環境に起因すると思われるケースが少ないが、スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置が十分でないため、学校と福祉分野や医療分野等が全ての事案で連携に至っていない。	
3	教育部	●	グローバルな人材の育成	外国語を学ぶ機会、科学に触れる機会の充実を図り、児童生徒における英語力と科学力の向上に取り組む。	⑤	英検補助対象受検者数における合格者の割合は、前年度より6.9ポイント上昇し、期待値と同数値の結果であった。	A	・英検3級相当の英語力をつけることを目標に掲げ、達成に向け学校への周知を図った。 ・学力ステップアップ事業を通して外国語教育について小中連携が図られた ・平成24年度からステップアップ英語講座を継続して実施している。		◇北上市英語力推進アクションプランの周知を図る。 ◇小学校外国語及び中学校英語の授業改善や教育研究所英語力向上部会による指導法の研究推進を図るとともに、英語検定補助事業、ステップアップ英語講座の継続実施とその充実によりCEFR A1レベルの英語力を身に付けた生徒の育成を目指す。 ◇各事業の内容を見直しながら継続実施し、外国語や科学に触れる機会を創出する。
						・イングリッシュ・キャンプ(中学生対象)、イングリッシュ・ワールド(小学生対象)、ステップアップ英語講座、オンライン英会話講座を実施した。 ・小学生4～6年生を対象とした科学実験教室では、定員数を上回る申し込みがあった。	(B)	・チラシ配布など周知の強化を図った。 ・申し込みをQRコードの読み取りで行えるようにするなど簡略化を図った。		
4	教育部		食に関する自己管理能力の育成	食生活による肥満等への指導や、栄養教諭等が具体的に授業に参画することにより、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進する。	⑥⑦	北上市内の小中学校の児童生徒の肥満やせ状況は、小学生は令和4年度の13.44%から12.68%と微減傾向である、中学生は、この3年間は期待値を超えない11%台を推移している。	B (B)	・3センターにおける食育授業(延べ106クラス 実施クラス率42.4%)の実施や、毎月の献立表と併せた給食だよりの発行、校内放送等により、食の大切さや食事マナーの啓発を行っている。 ・3センターにおいて給食の準備、喫食、片付け等の状況や児童生徒の声の確認に学校訪問(28校 実施率96.55%)を実施している。	毎年、調査を行っている「肥満やせ」の実態に基づき、各校において、対象者に個別指導を行っている。	◇小学生におけるが肥満の割合が期待値を超えていることから学校での個別指導のほか、給食センター栄養教諭等が学校訪問等の情報を活用し食育の授業を行う。 ◇行事食や地産地消による、地元の野菜など産品の理解や伝統行事を学ぶ機会として今後も特色ある給食の提供を行う。
						・市内小中学生の「やせ傾向」は、小学生(令和3年度:1.11%、令和4年度:1.13%、令和5年度:1.37%)、中学生(令和3年度:1.98%、令和4年度:1.87%、令和5年度:2.75%)といずれも、微増傾向にある。 ・市内小中学生の「やせ傾向」を全国及び県と比較すると、令和4年度時点での全国の数値(小学生2.66%、中学生2.98%)より、当市の「やせ」の割合は下回っているが、県と同数値(小学生1.25%、中学生1.88%)は若干上回ってしまっている。		・3センターにおける食育授業の実施や、毎月の献立表と併せた給食だよりの発行、校内放送等により、食の大切さや食事マナーの啓発を行っている。	・子どもの「やせ」の状況については、給食以外の各家庭の状況等、様々な要素が考えられる。 ・毎年、調査を行っている「肥満やせ」の実態に基づき、各校において、対象者に個別指導を行っている。	

凡例 ●—実績値 —期待値

指 標 ①		指標の説明									指 標 ②		指標の説明									指 標 ③		指標の説明								
総合学力調査における平均正答率の全国比〔2教科(国・算)小学4年〕		2教科の学力検査の平均正答率									総合学力調査における平均正答率の全国比〔5教科(国・数・社・理・英)中学1年〕		5教科の学力検査の正答率の平均値									不登校出現率(小学校)		市内小学校在籍児童数に占める不登校児童の割合(年間30日以上)※全国か県のうち低い値を下回る％								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
教育部	％	実績値	103.9	100	100	103.6	98.9			教育部	％	実績値	96.10	100	97.6	97.2	94.9			教育部	％	実績値	0.54	0.57	0.86	1.22	1.84					
		期待値 ※R7は目標値	103.9	103.8	103.6	103.5	103.3	103.2	103.0			期待値 ※R7は目標値	96.1	96.917	97.733	98.55	99.367	100.18	101			期待値 ※R7は目標値	0.55	0.62	0.84	1.13						
		備 考										備 考										備 考	県の値	県の値	県の値	県の値	国・県出現率未公表		※			
指 標 ④		指標の説明									指 標 ⑤		指標の説明									指 標 ⑥		指標の説明								
不登校出現率(中学校)		市内中学校在籍生徒数に占める不登校生徒の割合(年間30日以上)※全国か県のうち低い値を下回る％									英検補助対象受検者数における合格者の割合		級を問わず、英検補助対象の英検を受検した生徒のうち合格した生徒の割合									肥満の割合(肥満度20%以上)		毎年の小学校定期健康診断における全体児童数に対する肥満児童の割合								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
教育部	％	実績値	3.07	3.24	3.93	4.93	5.95			教育部	％	実績値	58.9	61.6	58.7	54.0	60.9			教育部	％	実績値	10.1	11.39	11.68	13.44	12.68					
		期待値 ※R7は目標値	3.07	3.32	3.96	4.65			期待値 ※R7は目標値			58.9	59.4	59.9	60.4	60.9	61.4	62	期待値 ※R7は目標値			10.1	9.9	9.7	9.6	9.4	9.2	9.0				
		備 考	県の値	県の値	県の値	県の値	国・県出現率未公表	※	備 考										備 考													
指 標 ⑦		指標の説明									指 標 ⑧		指標の説明									指 標 ⑨		指標の説明								
肥満の割合(肥満度20%以上)		毎年の中学校定期健康診断における全体生徒数に対する肥満生徒の割合																														
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
教育部	％	実績値	11.5	11.62	10.19	11.39	11.22					実績値										実績値										
		期待値 ※R7は目標値	11.5	11.3	11.0	10.8	10.5	10.3	10.0			期待値 ※R7は目標値							期待値 ※R7は目標値													
		備 考										備 考							備 考													
指 標 ⑩		指標の説明									指 標 ⑪		指標の説明									指 標 ⑫		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値										実績値										実績値										
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							期待値 ※R7は目標値													
		備 考										備 考							備 考													
指 標 ⑬		指標の説明									指 標 ⑭		指標の説明									指 標 ⑮		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		実績値										実績値										実績値										
		期待値 ※R7は目標値										期待値 ※R7は目標値							期待値 ※R7は目標値													
		備 考										備 考							備 考													